

入間市立金子小学校

茶摘み・手揉み茶体験



第3学年

特色

金子小学校のある金子地区は、狭山茶の主な産地であり、学区内の南側には茶畑が広がっている。保護者の中には、茶農家や製茶業の方も多し。地域の方や保護者にも協力をいただき、狭山茶とふれ合う教育を実践している。

地域の茶畑で茶摘み体験をさせていただいた。子供たちは、教えていただいた通りに真剣に茶摘みを行っていた。また、製茶業を営む保護者に協力をいただき、手揉み茶体験を行った。

児童の感想

お茶がどうやって出来上がるか、よくわかりました。自分で作ったお茶は、最高においしかったです。

固い葉っぱが、柔らかくなっておいしいお茶になり、びっくりしました。お茶が好きになりました。

成果

狭山茶の産地である金子地区に育った子供たちだが、家庭では、お茶を飲む経験がない児童もいる。今回、自分の手で摘み、製茶に挑戦した。地場産業への理解を深めただけでなく、お茶を身近に感じ、地域の良さを実感することができた。